

音楽 1 学年

はじめに

中学校の音楽は、表現（歌ったり、楽器を演奏したり、ふしを創ったり）することと、鑑賞（音楽を聴いて感じたり）するといった幅広い活動を通して、音楽を好きになり、豊かな心を育て、音楽的な活動の出来る力をつけていくための授業です。

年間計画

題 材 名	教 材	時	目 標
①歌うなかまをつくろう（歌唱）	「校歌」 「青空へのぼろう」	5	・新しい仲間といっしょに歌う喜びを味わう。・のびのびとした明るい声で歌い、発声の基本を身に付ける。
②身近な楽器に親しもう（器楽・創作）	「喜びの歌」 「オー・リー」 「アニー・ローリー」 (歌唱・奏)	5	アルトリコーダーの基礎的な奏法を身に付ける。・美しい音色の演奏を工夫して表現する。・旋律と和音のかかわりに気づく。
③民謡に親しもう	「ソーラン節」	2	・拍の表れ方を意識し声の出し方やのびやかさなどの特徴を感じ取ろう
④イメージをふくらませて聴こう（鑑賞）	四季より「春」 ブルタバ(モルダウ)	6	・イメージをふくらませ、情景を想像しながら聴く。
⑤合唱曲に挑戦しよう	合唱コンクールに向けて	9	・声部の役割を知り、混声合唱の響きを感じ取って歌い合わせる喜びを味わう。
⑥シューベルトの歌曲に親しもう（鑑賞）	「魔王」「野ばら」 「アヴェ マリア」 など	3	・豊かな歌声と多彩なピアノ表現及びピアノ伴奏の効果を感じ取る。
⑦心の歌を歌いつごう（歌唱）	「赤とんぼ」 「夏の思い出」	5	・歌詞と音楽を形づくっている要素とのかかわりを感じ取って歌唱表現を工夫する。・拍の流れやフレーズを感じて表現する力を養う。
⑧リズムアンサンブルを楽しもう（創作）	・楽しいリズム曲をつくろう	2	・手拍子で基本的なリズムやリズム打ちをマスターした後、グループでリズムアンサンブルを行う。
⑨アジアの諸民族の音楽や郷土の音楽に親しもう（鑑賞）	・日本とアジアをつなぐ音 ・日本の民謡と芸能	4	・アジアや日本の郷土の音楽を試聴し、さまざまな音楽に触れ、その良さを感じ取る。

⑩日本の音楽に親しもう（器楽）	・「太鼓」で基本のリズムを打ってみよう ・「箏」で「さくらさくら」を弾こう	6	・日本の音や音楽に関心を持ち、日本の伝統的な音楽に触れる。・和楽器に親しみ、実際に触れてみることによりさらに興味・関心を高める。
⑪希望をふくらませて歌おう（歌唱）	学年合唱曲	5	・曲にふさわしい歌い方を工夫し、表情豊かに歌う。・音楽と行事のかかわりを大切にする心情を養う。

教科の先生からのアドバイス

- ・ 始めの授業で必要なものは伝えますので、毎回忘れ物のないようセットしておきましょう。

観点別評価について

- | | | |
|---------------|---|---------------------|
| ①音楽への関心・意欲・態度 | ・ 持ち物忘れ、提出物の状況
・ 知識、理解の様子（定期テスト含む） | ・ 学習全体への関心、活動への参加状況 |
| ②音楽表現の創意工夫 | ・ 音楽を形作る様々な要素を支えとして音楽表現を工夫する。
・ 曲の形式や諸記号、構成などの理解度（定期テスト含む） | |
| ③表現活動の技能 | ・ 歌詞の内容や曲想をいかした音楽表現をするための発声や技能を身につけている
・ 読譜力や基本的な技能などの理解度（定期テスト含む） | |
| ④鑑賞の能力 | ・ 楽曲の特徴を理解し、音楽を形作っている要素が生み出す雰囲気を感じている。
・ 言葉で表すなどして、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。
(授業中の発言やワークの内容、定期テストなど) | |

おわりに

中学生の君たちは、男子も女子も変声期にあり、うまく歌えなかったり恥ずかしがったりするものです。そんな仲間を互いに思う気持ちを大切にして授業に臨んでほしいと思います。